

海の声

～VOICE OF OCEAN～

地域の皆様と保護者の皆様とわたしたち「チーム御所浦」で
「瞳 きらきら 心 ぴかぴか」な子どもたち、夢を笑顔
で語れる子どもたちを育てていきたい。

天草市立御所浦小学校 学校通信

文責 木場 正敏

No.7

令和4年7月1日

6年生 修学旅行R4年6月23～24日

修学旅行は、「これまでの学び」と「これからの学び」をつなげる大切な時間

6月23日、24日に6年生が長崎・佐賀方面に修学旅行に行ってきました。新型コロナウイルス感染症警戒レベルがレベル2を維持している中の修学旅行だったのですが、保護者の皆さんの理解とご協力を得ながら、学校でできる対策は徹底して、現地の施設などの対策はしっかり守りながら楽しい学びの時間を過ごしました。

1日目は大浦天主堂やグラバー園なども巡った後は、原爆資料館を中心とした施設で学ぶ平和学習でした。ホテルでは夜景を見たり、友達と過ごしたりと、楽しい時間を過ごしました。2日目は、佐賀宇宙科学館で科学を、雲仙岳災害記念館では、災害について学びました。修学旅行は6年生の集大成。今までの6年間の様々な経験、学習の成果が子どもたちの姿にあらわれるといわれます。御所っ子の6年生！友達への優しい声かけ、ルールを守ったホテルでの過ごし方、平和集会の時の凜とした声での誓いの言葉などさすが6年生という姿がたくさん見られました。子どもたちも平和学習をはじめしっかり学んで修学旅行に行きました。修学旅行の中で新たに感じたこと、経験したことなどたくさんの学びがあったようです。この学びを自分のステップアップにつなげていくことが大切です。期待しています。これからも学びは続いていきます。知識として身につけていくこと、心の成長として高めていくことなどいっぱいあります。最後の授業である卒業証書授与式に向け、さらにレベルアップする姿を楽しみにしています。

最後に、6年生の被爆者の方の講話を聞いた感想の一部を紹介します。
「お話を聞いて、とても苦しい思いをされたのがわかりました。私は、原爆で家族や友達を失い、放射線を浴びてしまっているから学校では差別されて、二度とこのようなことが起きてほしくないなと思いました。」

1学期人権旬間

テーマ「なかまづくり ～ともだちと なかよくしよう～

御所っ子人権宣言

- やさしい言葉をつかう御所っ子
- 相手の話を最後まで聞ける御所っ子
- だれにでも笑顔で声をかけられる御所っ子
- 相手の気持ちを考えて行動できる御所っ子

6月30日(木)に1学期の人権集会がありました。1学期のテーマは「なかまづくり」です。本校では学期ごとに人権委員が各学級から選出されます。その人権委員が中心になって、人権集会などは運営されています。上の「御所っ子人権宣言」も各学級からあげてもらった、多くの意見を元に、内容を精査し、人権委員が決めてくれたものです。だから御所浦小学校73人の気持ちがこもった宣言といえます。

各学年の人権目標です。

- 1年生『「ありがとう。」と「ごめんね。」がいえる1年生』
- 2年生『思いやりを持って優しい言葉をつかう2年生』
- 3年生『いやな気持ちになるちゅういや言動をせず、やさしい言葉かけをする3年生』
- 4年生『相手のことを考えて あいさつしたり ぽかぽか言葉を使ったりする4年生』
- 5年生『差別をなくすため、一人一人を大切にだれにでも同じ態度で相手の気持ちを考え、全力で行動する5年生』
- 6年生『決めつけをせず 相手のことも自分のこととして考えられる優しい心の6年生』

人権集会のスタートの際に子どもたちに話をしましたが『「思いやり」とは目の前のだれか、目の前にはいないだれかそれぞれを大切に思う気持ちです。思いやりを持って皆が行動すれば、みんなが幸せに感じる』と思います。

